

「3年8組阿蘇応援の旅」

前回の還暦旅行では「5年後にはまた旅行に行きたいね。」という事だったのですが、中村君が東南アジアから帰国し、「今度は俺も行きたい。」という事で、6月9日（土）、10日（日）に阿蘇温泉一泊旅行に行きました。今回も、宿泊やバスの手配を上野君にお願いしました。「阿蘇に行くなら、地震復興の応援にしよう。」と段取りしてくれました。ツアー名が「38阿蘇応援の旅」です。

今回の参加者は14名（男性10名、女性4名）、13名が貸切バスで、1名が車で、行く事になりました。

2～3日前までは、台風の接近で雨の予報でしたが、当日は快晴になり、すごい強運の晴れ男や晴れ女が参加者の中にいた事に驚き、感謝しました。

当日、市民会館前を13時出発でしたが、みんな集合が早く、12時50分には出発しました。大津駅で4人乗車して、バス組13人が揃いました。

すでにバスの中ではビールで乾杯していましたが、再度乾杯してまた飲み始めました。去年の8月に開通した長陽大橋を通り、下野で57号線にもどるコースでしたが、ちょっと寄り道し、崩落した阿蘇大橋のところへ行きました。



バスのツアー名



崩落した阿蘇大橋の跡



ガードレールに花

崩れた所を復旧工事している現場を見て、地震のすごさを目の当たりにし、復興はまだだと実感しました。ガードレールのところに花が供えてありました。

15時すぎ、阿蘇内牧のホテルに着き、荷物を置いて「はな阿蘇美」へ。女性陣はバラ祭りを見るため中へ入りましたが、男組は近くの「福の神地蔵尊」に行きました。

小高い丘の上に樹齢400年の杉がありました。みんな樹齢400年のパワーをもらうため杉に触れました。阿蘇山の涅槃像の中に「小涅槃像」がありました。

仕事で遅れて着いた木村君と女性陣と丘の上で合流し、今仕入れた小涅槃や杉の知識をひけらかそうとしましたが、気づかれて失敗しました。



上りに「福の神地蔵尊」 丘の上の杉「^{うまのじょう}右馬允さんの杉」 中央の雲の下に「小湊繁像」
ホテルに帰り、温泉に入ったら疲れが取れました。そして宴会を始めました。



それぞれの近況報告や昔話で話が弾み、時間が経つのも忘れ、話が盛り上がりました。

宴会が終わってから、下のロビーに降りると、「独楽回し体験」で子供たちがコマ回しをしていました。

大人も回そうとしていましたが、なかなか回りません。我々も挑戦しましたが、木村君だけが回せました。

私も上からは回せず、下からの女投げでやっと回りました。





部屋に帰ってからも、部屋飲みに集まりました。家ではみんな、いびきがうるさいから、奥さんとは別の部屋で寝ているというのですが、一人だけ今も一緒に寝ているという人がいました。きっといびきをかかず静かに寝ているのでしょう。

お開きになって部屋で寝ましたが、3人部屋の3人ともいびきがひどく、次の日は少し眠たかったです。

次の日は、阿蘇国造神社へ行きました。樹齢2,000年と言われる「陽」と「陰」の二本の杉があったのですが、戦災や台風で倒れ、切り株が保存されていました。



高い屋根に保存されている幹の部分



低い屋根の方に根の部分が保存

ここでは、元県職員の同級生から、阿蘇や菊池に製鉄技術が伝来した理由について聞きました。鉄を作るのに適した土があったとのことでした。

その後、阿蘇神社へ。倒壊した楼門は片付けられてあり、案内所にその楼門のいくつかの部分の品がいくつか飾られていました。



この「懸魚」には
♡型がくり抜いて
あり、「猪の目」と
言っており、昔から
模様としてよく
使われていたそ
うです。
→ ここが♡型。

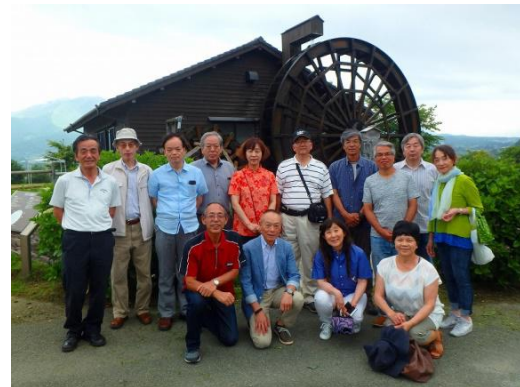


みんなでお詣りして、門前町商店街を散策し、買い物しました。

その後、昼食を食べに行きました。

「だご汁定食」または「ホルモン煮込み定食」を頼み、ご飯はもちろん高菜めしを注文して食べました。

お腹がいっぱいになったところで、「あそ望の郷くぎの」で最後の買い物をしました。買い物をしてお金を使い、阿蘇を応援するのが目的の旅です。ちょうど、猿回しがあっっていてみんなで見物しました。



ここで、車の木村君とはお別れし、帰路に着きました。

今回の旅行もまた、バス・宿の手配や行程の打合せを上野君にお願いしました。仕事が忙しい中、いろいろ動いてくれたので、楽しい旅行ができました。感謝、感謝です。

「次は、3年後がいい。それも海外がいい。」と言われて、どうしようと不安になりましたが、「みんな一緒ならどこでもきっと楽しいのでは。県内でもいいか。」と開き直って考えることにしました。

みなさん、それまで、元気で。また集まりましょう。

曲棍